

議員と語り合い 報告書

No 1

開催日	平成 24年 11月 5日 15:00 ~ 16:45		
開催場所	霧島市議会棟 第3、4委員会室		
団体名	地元給食を守る会	参加人数	8人
出席議員(班)	植山 利博、有村 隆志、今吉 歳晴、木野田 恵美子		
	中村 正人、徳田 和昭、池田 綱雄、宮本 明彦		
役割分担	班長(植山 利博)	記録係(宮本 明彦)	
テーマ及び具体的内容	<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の重要性、あり方について(具体的な内容) ・学校給食における食育、食の大切さ、将来を担う子どもたちへ安全安心な食材の供給の重要性を共に語りたい。 		
【11月5日3班】No2意見交換会での主な意見等	<p>(凡例 ◆:市民の方々からの意見 ⇒:議員の回答)</p> <p>◆学校の契約会で、ある業者の方から国分地区の給食センター化の話聞いた。現在、どういう形で、給食センター化の話合いが行われているのか。</p> <p>⇒ 給食室が老朽化する中、ウェット方式からドライ方式への建て替えが必要となっている。学校給食運営審議会で、国分地区に給食センターを建設し、国分地区のウェット方式校と福山地区の学校を対象とする再編計画が出されている。平成 26 年度に建設をして、27 年度9月ぐらいから運用を始めたいとのこと。</p> <p>◆今日は我々の意見を聞いていただき、できれば議員の皆さんに応援団になってもらいたい。</p> <p>◆センター化になるとの話から、将来に不安を持ち、廃業された方もおられる。センター化で、取引量が多くなると市外業者の参入も考えられ、価格などの競争が激しくなりそうだ。</p> <p>◆センター化のメリットは。</p> <p>⇒ 自校方式・センター方式のメリット・デメリットをまとめた資料を配布。大量購入のメリットはあるが、子どもにとってのメリットと言えるものの記載はない。</p> <p>◆食育の重要性の話。①匂いの感性、②直接食材に触れられる、③納入業者・調理師との会話、④旬の食材、⑤地産地消など。</p> <p>⇒ 食育は大事。お味噌汁で子どもの素行が良くなる例もあった。</p> <p>◆センター化と自校方式を続けるために改築する方法で、コストはいくらかかるのか。</p> <p>⇒ センター方式で5億2,100万円、自校方式で5億9900万円くらい。建設費はあまり変わらないが、人件費などでコスト削減が見込める。</p> <p>◆今回のセンター化でも、自校炊飯の取り引きが続けられるのか。</p> <p>⇒ 確約はできない。企業努力も必要。</p> <p><質問の趣旨は、センター内に炊飯設備が備えられるのかとの内容:炊飯の設備が入るのかは現状分かってない。></p>		

議員と語り合い 報告書

【 11月 5日 3 班】

No.2

意見交換会での 主な意見等

(凡例 ◆:市民の方々からの意見 ⇒:議員の回答)

⇒ (議員からの質問)学校でアンケート等を取ったのか。

◆「議員を語り合い」の開催を知ったのも2週間くらい前だったので、アンケートをとれる期間はなかった。国分に転勤されてきた先生、給食試食会でも保護者の方は自校給食が良いとおっしゃられていた。

◆教育委員会が、PTAからの意見を聞くという話はないのか。

⇒ 教育委員会でアンケートを取ったことはない。アンケート結果を出せば、考え直す余地も残っているのではないかと。

⇒ 執行部としての方針は決まっている。議会としては、予算が出てきた時点で予算を認めるか認めないかになるため、現実には決まったと言えないという段階である。

◆先進地域に視察に行かれるが、自校方式が良いという考え方で行かれるのか。

⇒ 議員は、地元経済の活性化のためにできるだけ地元から使ってくださいと発言している。給食の場合も子どものことを第一義に考えなければならないが、財政を無視して出来るということでもない。健全財政と子どもの食育を合わせて考える。

⇒ 納入業者さんは、納入がなくなるのではないかと心配されていると思う。地元業者の育成も大事である。議会人としては、一般の方々の意見も聞いて判断したい。

⇒ 隼人が給食センターに移行した際、業者さん達は心配された。しかし、多くの議員が業者を守る立場で一生懸命されたので、そんなに大きくは違わなかったと思う。

⇒ 取扱いができなくなった業者もいたと思う。品物によっては他所から参入してきた業者もいるし、今までどおり納入できる業者もいた。発注する側が地元育成ということで、分離発注をすれば可能なわけで、対応の仕方もあると思う。

◆隼人がセンター方式になった際、米飯の設備を入れない形を決めていただいた。国分のセンターで米飯を行うと現状の18名の従業員を解雇しなければならない。

⇒ (議員からの質問)米飯の米はどこから仕入れるのか。

◆始良市の鹿児島県学校給食総合センターからの支給で、鹿児島県産の米である。

◆隼人にセンターができたとき、国分の私は参入を遠慮した。今度、国分に行けると霧島市全体から入ってくるため、なくなるかもしれないと思っている。

◆流れでセンターになってしまうのかなと思っている。私たちの意見を聞いていただいて結論を出していただきたい。

⇒ 雇用も含めて、皆様の今後に対する不安を、全部ではないが理解はできたと思う。元気をなくされるんじゃないかと、今日の思いをPTAや地域の方々にもっと広げていただいて、元気を出してこれからもやっていただけたらと思う。我々の方も前向きに勉強しながら、結論を出す方向にしている。